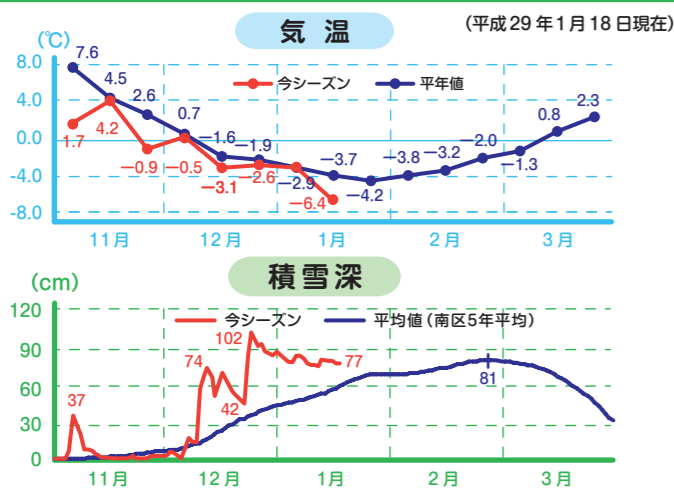


南区の冬の気象状況

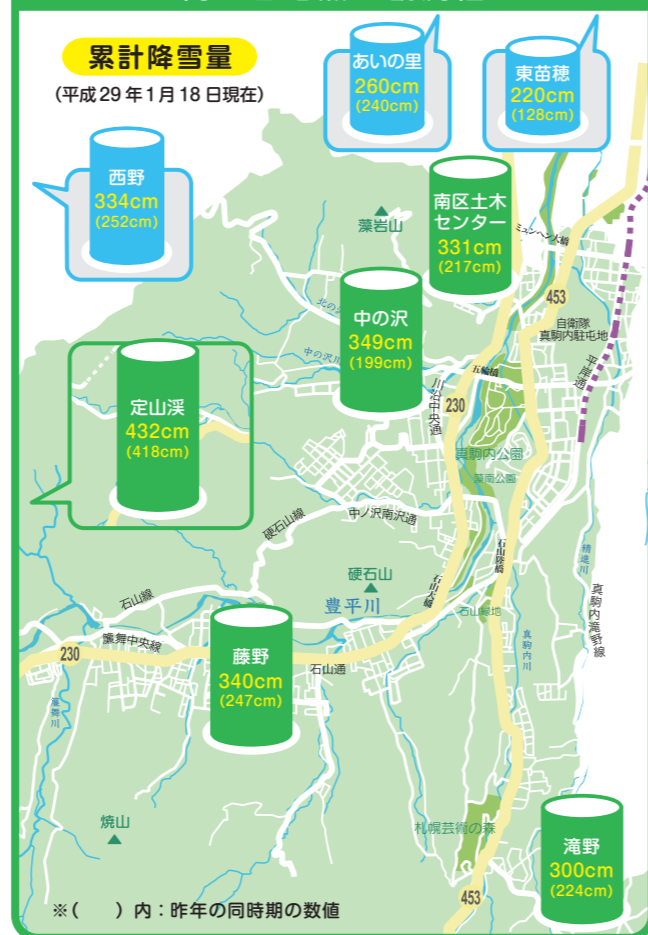
今後は平年並みに落ちつくか

新年に入り大きな降雪がないことから、積雪深が平均値に近づきつつあります。ただ累計降雪量は依然として市内でも多い状況にあり、10区の中でもトップを走っています。札幌管区気象台発表の3ヶ月予報では、日本海側の降雪量は平年並みと予想されていますが、今後の動向が気になるところです。

南区土木センターでの観測値



南区各地点の観測値



河川への雪捨てはやめてください!

子どもが転落してしまう恐れがあります!

過去に、河川に堆積した雪山から子どもが川に転落する事故が何度となく起きています。

河川への雪捨てによって堆積された雪山は、下部が流水によって流され空洞のようになっています。その上に子どもが乗ることで、雪解けの冷たい川へ転落する可能性があります。特に春先は水量も多く、流れも速いため大変危険です! 子どもたちの安全を守るためにも河川への雪捨てはやめて下さい。



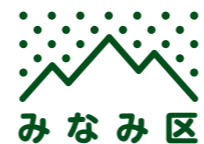
子どもなどが河川に近づかないよう、転落防止柵の取り外しも厳禁です!



河川が塞がれ氾濫の原因となります。



平成6年2月、融雪と降雨が重なったことで市内の中小河川の多くで氾濫がおき、家屋等にも被害をもたらしました(床下浸水26棟、床上浸水3棟)。中でも南区の南の沢川での氾濫が大きく、床上浸水の2棟がこの周辺でした。河川への雪捨てが横行していたということが、主な原因として明らかになっています。



冬みち便り

vol.3

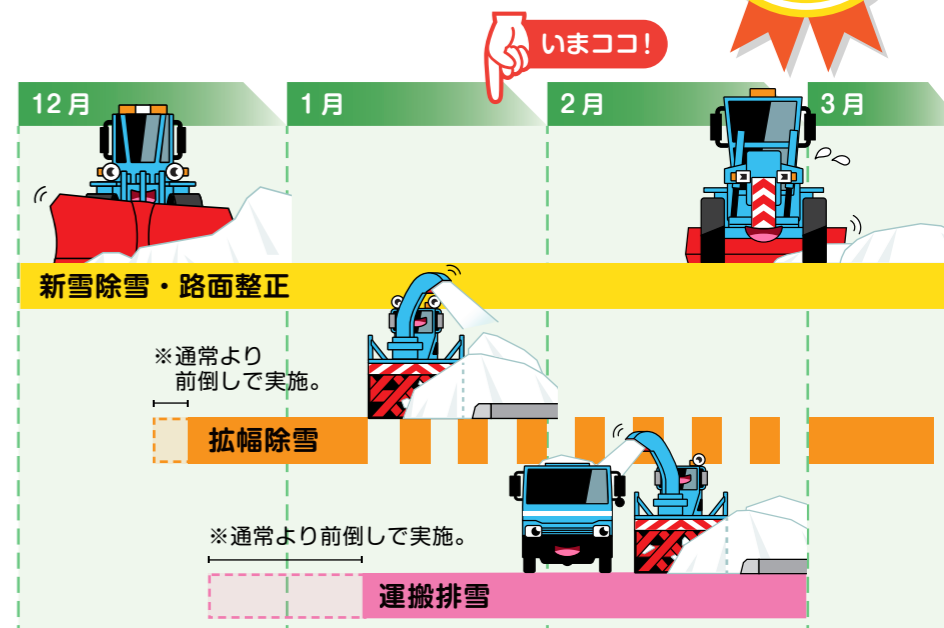
保存版

このリーフレットでは、南区のみなさまに4回にわたり、市の除排雪の仕組みや南区の状況等をお伝えしていきます。

札幌市南区土木部
平成29年1月26日発行

主な除雪スケジュール

現在は排雪作業のまっただ中ではありますが、道路脇に堆積した雪のあまりの多さに、思うような進捗が図られていないのが実情です。今後はパートナーシップ排雪など生活道路の排雪に入っていきますが、限られた人員や車両を最大限に活用して、効率の良い作業に努めていきます。



除雪をしている人ってどんな人?

土木センター

各区の土木センターでは除雪作業の実施計画や管理・監督を行っています。排雪する道路や時期など各除雪センターに作業の方針を指示しています。



▲道路の除排雪の実行計画をたてたり、除雪事業者への業務発注・管理を行います。



南区土木センター
松田さん

一番難しいと思う仕事はなんですか?

市民生活を支える交通の確保が絶対条件である中、区内に一齐に発生するツルツルやザクザク・ガタガタ、また道路幅の確保等について、限られた予算、限られた時間、限られた戦力の中で、いかに効率よく、先を読み、全体を少しでも良好な道路状況に近づけられるか。そこが最も難しく悩ましいところだと感じています。

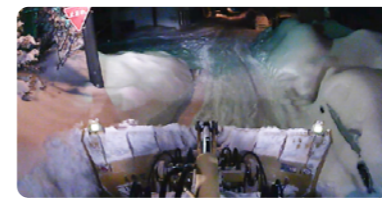
発注

除雪センター

除雪センターでは市の委託を受けた除雪事業者が24時間体制で道路を守っています。また、住民のみなさんからのお問い合わせの窓口にもなっています。



▲主に作業は深夜から朝方にかけて行われます。



▲除雪車の運転席から見た視界

特に心がけていることはありますか?

やはり事故がないことを何よりも一番に考え、出勤前には除雪車の点検を必ず行います。また作業中も周囲の安全確認にたいへん神経を使っています。

嬉しかったことはなんですか?

やはり住民のみなさんに「ありがとう」と声をかけていただいた時は嬉しく思います。普段は、いただく言葉といえお叱りの言葉がほとんどなのですが、たまに「ありがとう」とあると励みになります。



除雪事業者
浅野さん

夜中から朝まで作業する日はどのような生活になるのですか?

昼夜が逆転し、朝に帰宅して昼頃から夕方まで寝ることが多いです。センターの仕事はシフトの交代制で行っています。

発行	札幌市南区土木部維持管理課 (南区土木センター)	
お問合せ	区の除雪事業について	▶ 札幌市南区土木部維持管理課 (南区土木センター) 電話: 011-581-3811
	区の除雪作業について	▶ 北地区除雪センター 電話: 011-583-6851 ▶ 南地区除雪センター 電話: 011-573-9222 ※お住まいの区域の除雪センターについては、冬のくらしガイドや、札幌市南区ホームページにてご確認ください。
今後のリーフレット発行予定	▶ 第4号 2/16(木)	

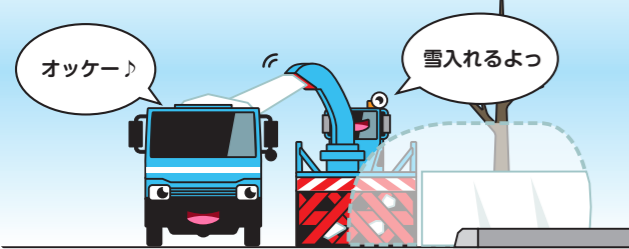


札幌市南区 除雪関連 🔍 検索

排雪とは

除雪で積み上げた雪山を、ロータリー車などで削り取り、ダンプトラックに積んで雪堆積場などへ運搬する作業のことです。

市では、幹線道路（交通量が多く、道路の幅が10mを超える道路）を主に排雪します。住宅街を通る生活道路に関しては、町内会と協議の上、申請のあった路線について、除雪パートナーシップ制度のもと排雪を行います。



排雪を行う時期

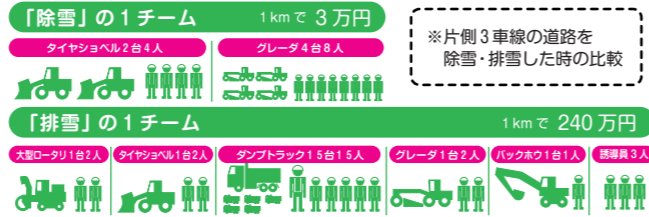
雪山が高くなったり道路の幅が狭くなって、これ以上雪の置き場がなくなってきた場合など、全体の工程も考慮しつつ総合的判断で排雪を開始します。

通常はシーズン1回、おおむね1月中旬～3月上旬で行いますが、今シーズンは特例的に12月後半から緊急排雪を実施しています。

排雪には、たくさんの**人と機械**、また**お金**が必要で、そのうえ**雪堆積場**の確保も不可欠となります。

1 人と機械

排雪を行うには、多くの**人員と機械**が必要であり、また作業には相応の**日数**を必要とします。

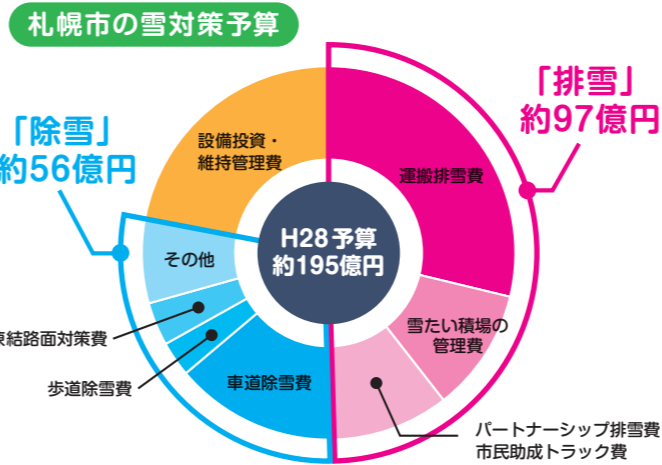


南区では、約278kmもの道路を排雪していますが、この距離を通常の排雪期間（1月中旬～3月上旬）の中で実施するためには、最大10セットもの「排雪」チームを編成しなければなりません。



2 お金（予算）

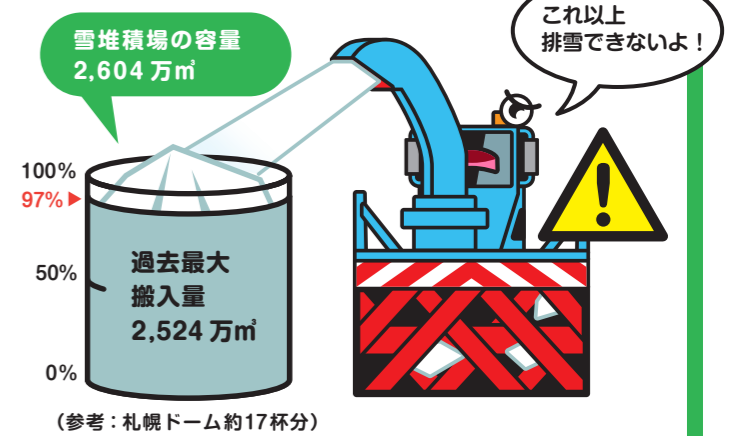
排雪を行うには、たくさんの人と機械と日数が必要であることから、同じ距離を作業するのにも除雪に対し約80倍もの費用が必要になります。また、札幌市の雪対策予算は、H28年度は約195億円となっていますが、そのうち「排雪」に関する費用が**全体の約半分**を占めています。



3 雪堆積場

雪堆積場には広い土地が必要で、かつ大量の雪解け水の処理が可能な場所であればならず、新たな場所を確保するのはなかなか簡単ではありません。

現在確保している雪堆積場は、市全体で75か所（容量：2,604万 m^3 ）ですが、過去の最大搬入量（H24：2,524万 m^3 ）は、それに対して約97%と迫っており、余裕はない状況です。



「どうして排雪は年に1回しかできないんだろう？」「なんでもっと雪を持って行って欲しくないんだろう？」「排雪が思うように進まないのはなぜだろう？」
 と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、**排雪を取り巻く状況はとて厳しく、これ以上増やすことはむずかしいのです。**
排雪量を少しでも抑えるため、また排雪をスムーズに進ませるため、みなさんのご理解とご協力が必要です！

市の取組

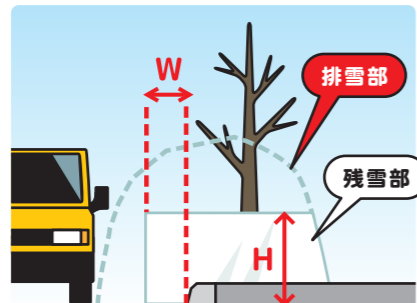
メリハリをつけた排雪をしています！

【排雪抑制】
 多くの幹線道路においては、排雪量の抑制を目的として、図のように路側部の雪を残した排雪を行います。

【排雪強化】
 一方で、バス専用（優先）レーンや狭小バス路線などでは、バスの定時運行の確保のため、通常シーズン1回の排雪を2回・3回と増やして対応している路線もあります。

【排雪抑制】 幹線道路

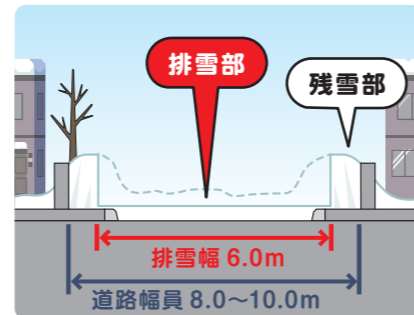
図のように雪を残して排雪します。



W=車の通行に支障がない程度まで（0～1.0m）
 H=車からの見通しの良い高さまで（1.2m程度）

【排雪抑制】 生活道路

除雪パートナーシップ制度等により排雪をする場合に適用。



ご理解を！

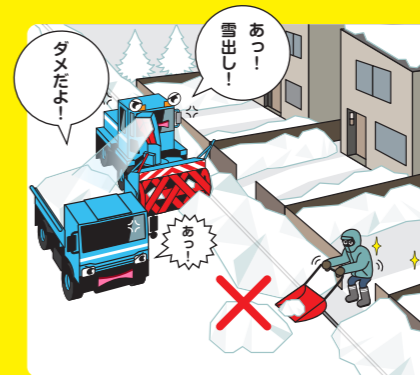
市民の取組

排雪量の抑制にご協力ください！

❗ 雪出しはやめてください！

排雪時の雪出しは排雪作業の遅れにつながるほか、排雪量が増えることにより余計に費用がかかってしまったり、雪堆積場の容量オーバーにもつながりかねません。排雪の日に合わせて、敷地内（屋根や庭）の雪を道路に出すのはやめましょう。

雪出しは、道路法・道路交通法によって禁止されており、最大で1年以下の懲役又は50万円以下の罰金となります。過去に手稲区において、道路をふさぐような形で行われた雪出しが検挙された事例があります。



ご協力を！

雪ふみで雪を減らしましょう

フカフカの雪を踏むと、体積は約1/5にまで減少します。雪ふみをして、敷地内の雪処理を心がけましょう。運動不足の解消にもなり一石二鳥！

地域の雪置き場として公園を活用しましょう

公園を雪置き場として活用するには、一定のルールのもと、市と町内会との覚書の取り交わしが必要になります。（詳しくは第1号で紹介していますので、ご確認ください。）

問い合わせ

南区土木センター 電話：011-581-3811